

文 献

- 安藤一男 (1982) 2 珪藻. 埼玉県教育委員会編, 寿能泥炭層遺跡発掘調査報告書 自然遺物編, 153–238.
- 安藤一男 (1986) 珪藻群集からみた埼玉県見沼低地の古環境の変遷と完新世最高海水準. 第四紀研究, **25**, 165–176.
- 安藤一男・方違重治 (1997) 珪藻遺骸群集による縄文海進期の想定海岸線と貝塚分布との関係 —埼玉県荒川低地上流域を例にして—. 季刊地理学, **49**, 231–246.
- 安藤一男・藤本 潔 (1990) 珪藻群集からみた埼玉県荒川低地中流域における古環境の変遷と旧海水準. 第四紀研究, **29**, 427–437.
- 安藤一男・和田 信・高野 司 (1987) 珪藻群集からみた埼玉県荒川低地の古環境の検討. 第四紀研究, **26**, 111–127.
- 青木かおり・入野智久・大場忠道 (2008) 鹿島沖海底コア MD01-2421 の後期更新世テフラ層序. 第四紀研究, **47**, 391–407.
- 新井房夫 (1972) 斜方輝石・角閃石の屈折率によるテフラの同定. 第四紀研究, **11**, 254–269.
- 新井房夫・町田 洋・杉原重夫 (1977) 南関東における後期更新世の示標テフラ層. 第四紀研究, **16**, 19–40.
- 遠藤邦彦・印牧もところ・中井信之・森 育子・藤沢みどり・是枝若菜・小杉正人 (1992) 中川低地と三郷の地質. 三郷市史編纂委員会編, 三郷市史第八巻別編自然編, 36–111.
- 遠藤邦彦・小杉正人・高野 司 (1988) 草加市の地質. 草加市史編纂委員会編, 草加市史 自然・考古編, 草加市, 23–69.
- 八戸昭一・林 武司・和田里絵・長田昌彦 (2014) 埼玉県の地盤. 地盤工学会関東支部編, 新・関東の地盤, 丸善出版, 81–96.
- 平社定夫・佐藤和平 (1993) 流域の地形と表層地質 4. 河畔砂丘. 中川水系, I 総論・II 自然, 中川水系総合調査報告書 I, 埼玉県, 82–118.
- 本郷美佐緒・水野清秀 (2009) 埼玉県さいたま市で掘削された深作 A-I ボーリングコアの花粉化石群集. 地質調査研究報告, **60**, 559–579.
- 堀口万吉 (1970) 大宮台地南部の地質 (演旨). 地質学雑誌, **76**, 80.
- 堀口万吉・清水康守・駒井 潔 (1982) 地層. 寿能泥炭層遺跡発掘調査報告書 自然遺物編, 埼玉県教育委員会, 59–136.
- 細野 衛 (2019) 鉱物から見た関東ローム層. さいたま市史自然編 ～気象・地形・地質～, 192–200.
- IPCC (2021) Climate Change 2021: The Physical Science Basis. <https://www.ipcc.ch/report/ar6/wg1/> (閲覧日: 2024 年 10 月 1 日)
- 五十嵐八枝子 (2009) 北西太平洋・鹿島沖コア MD01-2421 の MIS 6 以降の花粉記録: 陸域資料との対比. 地質学雑誌, **115**, 357–366.
- Igarashi, Y. and Oba, T. (2006) Fluctuations in the East Asian monsoon over the last 144ka in the northwest Pacific based on a high-resolution pollen analysis of IMAGES core MD01-2421. *Quaternary Science Reviews*, **25**, 1447–1459.
- 稲崎富士・太田陽子・丸山茂徳 (2014) 400 年を越えて続いた日本史上最大最長の土木事業 —関東平野における河川改修事業を規制したテクニク的な制約—. 地学雑誌, **123**, 401–433.
- 井上洋子 (1980) 日本周辺海域の現生有孔虫の生態学的研究. 石油資源開発技研特報, **41**, 421p.
- 一般財団法人国土情報センター (2024) 国土情報データベース 一般公開. <https://publicweb.ngic.or.jp/public/publicweb.php> (閲覧日: 2024 年 10 月 1 日)
- Ishihara, T. and Sugai, T. (2017) Eustatic and regional tectonic controls on late Pleistocene paleovalley morphology in the central Kanto Plain, Japan. *Quaternary International*, **456**, 69–84.
- Ishihara, T., Sugai, T. and Hachinohe, S. (2012) Fluvial response to sea-level changes since the latest Pleistocene in the near-coastal lowland, central Kanto Plain, Japan. *Geomorphology*, **147–148**, 49–60.
- 石原与四郎・木村克己・田辺 晋・中島 礼・宮地良典・堀和明・稲崎富士・八戸昭一 (2004) 埼玉県草加市柿木地区で掘削された沖積層ボーリングコア (GS-SK-1) の堆積相・堆積物特性と放射性炭素年代. 地質調査研究報告, **55**, 183–200.
- 石山 高・柿本貴志・濱元栄起・白石英孝・渡邊圭司 (2022) 海成堆積物中黄鉄鉱の酸化分解に影響を及ぼす化学的因子の検討. 埼玉県環境科学国際センター報, **22**, 65–73.
- 石山達也・水野清秀・杉山雄一・須貝俊彦・中里裕臣・八戸昭一・末廣匡基・細矢卓志 (2005) 変動地形・ボーリング・反射法地震探査により明らかになった綾瀬川断層北部の撓曲変形. 活断層・古地震研究報告, **5**, 29–37.
- 坂倉勝彦 (1935) 千葉県小櫃川流域の層序 (其の 2). 地質学雑誌, **42**, 753–784.
- 岩村里美・升本眞二・塩野清治 (2012) 野外調査データにもとづいて地質構造の論理モデルを決定するアルゴリズム —地層の接触面の性質—. 情報地質, **23**, 3–16.
- 地震調査研究推進本部地震調査委員会 (2015) 深谷断層帯・綾瀬川断層 (関東平野北西縁断層帯・元荒川断層帯) の

- 長期評価（一部改訂）。 https://www.jishin.go.jp/main/chou-sa/katsudansou_pdf/31_kanto-heiya_2.pdf（閲覧日：2024年10月1日）
- Kaizuka, S., Naruse, Y. and Matsuda, I. (1977) Recent formations and their basal topography in and around Tokyo Bay, Central Japan. *The Quaternary Research*, **8**, 32–50.
- Kajita, H., Nakazawa, T., Utsunomiya, M., Ohkouchi, N., Sato, M., Harada, N. and Kawahata, H. (2022) Long-chain alkenones in the Shimosa Group reveal palaeotemperatures of the Pleistocene interglacial Palaeo-Tokyo Bays. *Progress in Earth and Planetary Science*, **9**, 40.
- 金子 稔・石川博行・中澤 努・野村正弘・山岸良江・矢島祐介（2005）大宮台地に分布する中－上部更新統下総層群木下層の有孔虫化石群集と堆積環境。第四紀研究, **44**, 339–351.
- 金子 稔・石川博行・野村正弘・中澤 努（2018）埼玉県さいたま市で掘削された浦和GS-UR-1コアの更新統下総層群産有孔虫化石群集。地質調査研究報告, **69**, 211–232.
- 関東地区地盤沈下調査測量協議会（1996a）関東地域累積地盤沈下量図〔S53～S63〕。
- 関東地区地盤沈下調査測量協議会（1996b）関東地域地盤沈下等量線図〔H7～H8〕。
- 関東地区地盤沈下調査測量協議会（1997）関東地域地盤沈下等量線図〔H8～H9〕。
- 関東地区地盤沈下調査測量協議会（2000）関東地域累積地盤沈下量図〔S63～H10〕。
- 関東地区地盤沈下調査測量協議会（2011）関東地域累積地盤沈下量図〔H10～H20〕。
- 関東平野中央部地質研究会（1994）関東平野中央部の地下地質—ボーリングコアによる解析—。地団研専報, no. 42, 180p.
- 関東ローム研究グループ（1956）関東ロームの諸問題。地質学雑誌, **62**, 302–316.
- 笠間友博（2008）神奈川県立博物館調査研究報告, **13**, 111–134.
- 笠間友博・山下浩之（2008）いわゆる「東京軽石層」について。神奈川博調査研報（自然）, **13**, 91–110.
- 硬砂団体研究グループ（1984）大宮台地に分布する硬砂層の性質と堆積環境。地球科学, **38**, 17–30.
- 河井興三（1961）南関東ガス田地帯についての鉱床地質学的研究。石油技術協会誌, **26**, 212–266.
- 菊地隆男（1972）成田層産白斑状化石生痕とその古地理学的意義。地質学雑誌, **78**, 137–144.
- Kobayashi, K., Minagawa, K., Machida, M., Shimizu, H. and Kitazawa, K. (1968) The Ontake pumice-fall deposit Pm-I as a Late Pleistocene time-marker in central Japan. *Journal of Faculty of Science, Shinshu University*, **3**, 171–198.
- 國分邦紀・川合将文・川島眞一・落合成泰（2016）近年の被圧地下水水位変動の特徴。東京都土木技術支援・人材育成センター年報, 115–120.
- 国土交通省（2024a）「基盤地図情報 5m メッシュ（標高）」。国土交通省国土地理院基盤地図情報サイト。 <https://www.gsi.go.jp/kiban/>（2024年4月26日取得）
- 国土交通省（2024b）「国土数値情報（行政区域データ）」。国土交通省国土数値情報ダウンロードサイト。 <https://nlftp.mlit.go.jp/ksj/gml/datalist/KsjTmplt-N03-2024.html>（2024年4月26日取得）
- 国土交通省水資源部（2014）関東平野北部地盤沈下防止等対策評価検討委員会とりまとめ。191p.
- 小松原純子（2014）荒川低地の沖積層基盤地形。地質調査研究報告, **65**, 85–95.
- Komatsubara, J., Ishihara, Y., Nakashima, R. and Uchida, M. (2017) Difference in timing of maximum flooding in two adjacent lowlands in the Tokyo area caused by the difference in sediment supply rate. *Quaternary International*, **455**, 56–69.
- 小松原純子・木村克己・福岡詩織・石原与四郎（2010a）沖積層ボーリングコアGS-SSS-1（埼玉県さいたま市）の堆積相と堆積物物性。堆積学研究, **69**, 3–15.
- 小松原純子・木村克己（2011）埼玉県川口市下老袋地区から採取した荒川低地の沖積層ボーリングコア（GS-KSO-1）の堆積相と堆積環境。堆積学研究, **70**, 93–103.
- 小松原純子・中島 礼・木村克己（2009）沖積層ボーリングコアGS-TKT-1（埼玉県戸田市）の堆積相と堆積物物性。堆積学研究, **68**, 13–25.
- 小松原純子・中島 礼・木村克己（2010b）埼玉県川口市在家町地区から採取した芝川低地の沖積層ボーリングコア（GS-KZK-1）の堆積相および堆積物物性。堆積学研究, **69**, 73–84.
- 小松原純子・内田昌男（2025印刷中）台地を刻む谷底低地の沖積層の形成プロセスと地盤特性：埼玉県芝川低地の例。地質学雑誌。
- 小松原 琢・中澤 努・兼子尚知（2004）木更津地域の地質。地域地質研究報告（5万分の1地質図幅），産総研地質調査総合センター, 64p.
- 小杉正人・片岡久子・長谷川四郎（1991）内湾域における有孔虫の環境指標種群の設定とその古環境復元への適用。化石, **50**, 37–55.
- 久喜市（2011）南栗橋地区地質（地盤）調査最終報告資料。47p.
- 町田 洋（1971）南関東のテフロクロノロジー（I）—下末吉期以降のテフラの起源および層序と年代について—。第四紀研究, **10**, 1–20.
- 町田 洋・新井房夫（1976）広域に分布する火山灰—始良Tn火山灰の発見とその意義。科学, **46**, 339–347.
- 町田 洋・新井房夫（2003）新編 火山灰アトラス—日本列島とその周辺。東京大学出版会, 336p.
- 町田瑞男（1973）武蔵野台地北部およびその周辺地域にお

- る火山灰層位学的研究. 地質学雑誌, **79**, 167–180.
- 横山次郎 (1931) 関東南部の洪積層. 小川博士還暦記念論文集, 307–382.
- Masumoto, S., Raghavan, V., Yonezawa, G., Nemoto, T. and Shiono, K. (2004) Construction and visualization of a three dimensional geologic model using GRASS GIS. *Transaction in GIS*, **8**, 211–223.
- Matoba, Y. (1970) Distribution of Recent shallow water foraminifera of Matsushima Bay, Miyagi Prefecture, northeast Japan. *The Science Reports of the Tohoku University. Second Series, Geology*, **42**, 1–85.
- の場保望 (1975) 底棲有孔虫 ー日本近海における分布ー. 海洋科学, **7**, 41–46.
- Matsuda, I. (1974) Distribution of the recent deposits and buried landforms in the Kanto Lowland, Central Japan. *Geographical Reports of Tokyo Metropolitan University*, **9**, 1–36.
- 三土知芳 (1937) 7万5千分の1地質図幅「茂原」. 地質調査所.
- 水野清秀・須貝俊彦・八戸昭一・中里裕臣・杉山雄一・石山達也・中澤 努・松島紘子・細矢卓志 (2004) ボーリング調査から推定される深谷断層南東部の地質構造と活動性. 活断層・古地震研究報告, **4**, 69–83.
- 森川六郎 (1962) 埼玉県南平野の地盤地質. 応用地質, **3**, 11–19.
- 長橋良隆・佐藤孝子・竹下欣宏・田原敬治・公文富士夫 (2007) 長野県, 高野層ボーリングコア (TKN-2004) に挟在する広域テフラ層の層序と編年. 第四紀研究, **46**, 305–325.
- 中村一夫・福田 理 (1953) 常総台地の地形及び地質 (演旨). 地質学雑誌, **59**, 319.
- 中西利典・田辺 晋・木村克己・中島 礼・内山美恵子・柴田康行 (2011a) 埼玉県三郷市彦成地区の沖積層コア (GS-MHI-1) の堆積相・珪藻化石群集組成・物性・放射性炭素年代値. 地質調査研究報告, **62**, 3–46.
- 中西利典・田辺 晋・木村克己・中島 礼・内山美恵子・柴田康行 (2011b) 埼玉県春日部市東備後地区に分布する沖積層の堆積相, 珪藻化石群集, 物性, 放射性炭素年代値. 地質調査研究報告, **62**, 47–84.
- 中島 礼・木村克己・宮地良典・石原与四郎・田辺 晋 (2004) 東京都江戸川区小松川と埼玉県草加市柿木において掘削した沖積層ボーリングコアから産出した貝化石群集. 地質調査研究報, **55**, 237–269.
- 中島 礼・高原勇夫 (2019) 化石が語るさいたま市の太古の海. さいたま市史 自然編 ～気象・地形・地質～, 157–191.
- 中里裕臣 (1997) 下総層群の年代. 坂上澄夫教授退官記念論文集, 127–141.
- 中里裕臣 (2002) 下総層群上泉層 Km2 テフラの再記載. 日本第四紀学会講演要旨集, **32**, 28–29.
- 中里裕臣・中澤 努・水野清秀 (2006) 関東平野中部～東部の中・上部更新統の編年. 月刊地球, **28**, 17–23.
- 中里裕臣・佐藤弘幸 (1988) 下総層群上泉層中の Km2 テフラ. 地質学雑誌, **94**, 793–796.
- 中里裕臣・佐藤弘幸 (2001) 下総層群の年代と“鹿島”隆起帯の運動. 第四紀研究, **40**, 251–257.
- 中澤 努・長 郁夫・坂田健太郎・中里裕臣・本郷美佐緒・納谷友規・野々垣 進・中山俊雄 (2019b) 東京都世田谷区, 武蔵野台地の地下に分布する世田谷層及び東京層の層序, 分布形態と地盤震動特性. 地質学雑誌, **125**, 367–385.
- 中澤 努・遠藤秀典 (2000) 関東平野中央部大宮・野田地域地下浅部の更新統堆積シーケンスと構造運動. 堆積学研究, **51**, 23–38.
- 中澤 努・遠藤秀典 (2002) 大宮地域の地質. 地域地質研究報告 (5万分の1地質図幅), 産総研地質調査総合センター, 41p.
- 中澤 努・中島 礼・植木岳雪・田辺 晋・大嶋秀明・堀内誠示 (2006) 大宮台地の地下に分布する更新統下総層群木下層のシーケンス層序学的研究. 地質学雑誌, **112**, 349–368.
- 中澤 努・中里裕臣・小松原 琢・塚本 斉 (2003) 関東地方に分布する中期更新世指標テフラ TB-8 と Ky3 の対比の再検討. 地質調査研究報告, **54**, 341–350.
- 中澤 努・中里裕臣 (2005) 関東平野中央部に分布する更新統下総層群の堆積サイクルとテフクロノロジー. 地質学雑誌, **111**, 87–93.
- 中澤 努・中里裕臣・大嶋秀明・堀内誠示 (2009) 関東平野中央部における上総ー下総層群境界: 越谷 GS-KS-1 コアでの MIS12 層準の特定. 地質学雑誌, **115**, 49–63.
- 中澤 努・納谷友規・坂田健太郎・本郷美佐緒・鈴木毅彦・中山俊雄 (2020) 東京層の模式コアセクション (代々木公園コア) における層序の再検討. 地質調査研究報告, **71**, 19–32.
- 中澤 努・野々垣 進・八戸昭一 (2019a) 台地をつくる地層ー更新統下総層群ー. さいたま市史 自然編 ～気象・地形・地質～, 91–136.
- 中澤 努・田辺 晋 (2011) 野田地域の地質. 地域地質研究報告 (5万分の1地質図幅), 産総研地質調査総合センター, 72p.
- Nakazawa, T., Sakata, K., Hongo, M. and Nakazato, H. (2017) Transition from incised valley to barrier island systems during MIS 5e in the northern Chiba area, Kanto Plain, central Japan. *Quaternary International*, **456**, 85–101.
- 奈良正和 (1994) “ヒメスナホリムシの生痕化石”の形成者は何か?: 生痕化石 *Macaronichnus segregatis* の形成メカニズム. 化石, **56**, 9–20.
- 納谷友規・石原武志・植木岳雪・本郷美佐緒・松島 (大上) 紘子・八戸昭一・吉見雅行・水野清秀 (2014) 関東平野中央部の第四系地下地質. 特殊地質図 No.40 (CD), 地質調査総合センター, 178–203.

- 納谷友規・小松原純子・野々垣 進・尾崎正紀・宮地良典・中澤 努・中里裕臣・鈴木毅彦・中山俊雄 (2021) 都市域の地質地盤図「東京都区部」(説明書). 産総研地質調査総合センター, 82p.
- 納谷友規・野々垣 進・小松原純子・宮地良典・中澤 努・風岡 修・潮崎翔一・香川 淳・吉田剛・加藤晶子・八武崎寿史・荻津 達・中里裕臣 (2018) 都市域の地質地盤図「千葉県北部地域」(説明書). 産総研地質調査総合センター, 55p.
- 納谷友規・安原正也 (2014) 鴻巣地域の地質. 地域地質研究報告(5 万分の 1 地質図幅), 産総研地質調査総合センター, 82p.
- 日本鉄道建設公団東京新幹線建設局 (1982) 上越新幹線(大宮・水上間) 地質図. 250p.
- 日本鉄道建設公団東京支社 (1974) 武蔵野(東西) 線地質図(府中本町～新松戸). 83p.
- 日本国有鉄道東京第一工事局・東京第二工事局・東京第三工事局 (1986) 東北新幹線(上野・大宮間) 地質図. 53p.
- 日本国有鉄道東京第三工事局 (1982) 東北新幹線(大宮・宇都宮間) 地質図. 144p.
- 日経コンストラクション (1999) さいたま新都心を襲った地盤沈下. 日経コンストラクション, **235**, 50–51.
- 楡井 尊・本郷美佐緒 (2018) 中部日本における前期末～中期更新世の花粉生層序. 第四紀研究, **57**, 143–155.
- 野々垣 進・升本眞二・塩田清治 (2008) 3 次 B- スプラインを用いた地層境界面の推定. 情報地質, **19**, 61–77.
- 小幡喜一・林 弥生子 (2006) 埼玉県芝川低地における「ヌマコダキガイ」群集の発見とその意義. 埼玉県立自然史博物館研究報告, **23**, 11–16.
- Oertel, G. F. (1985) The barrier island system. *Marine Geology*, **63**, 1–18.
- 岡崎浩子・増田富士雄 (1992) 古東京湾地域の堆積システム. 地質学雑誌, **98**, 235–258.
- Okuda, M., Nakazato, H., Miyoshi, N., Nakagawa, T., Okazaki, H., Saito, S. and Taira, A. (2006) MIS11–19 pollen stratigraphy from the 250 - m Choshi core, northeast Boso Peninsula, central Japan: Implications for the early/mid - Brunhes (400–780 ka) climate signals. *Island Arc*, **15**, 338–354.
- 埼玉県 (1973) 大宮 (5 万分の 1) 地形分類図・表層地質図. 土地分類基本調査, 35p.
- 埼玉県 (1975) 鴻巣 (5 万分の 1) 地形分類図・表層地質図. 土地分類基本調査, 50p.
- 埼玉県 (1980) 野田 (5 万分の 1) 地形分類図・表層地質図. 土地分類基本調査, 45p.
- 埼玉県 (1981) 水海道・東京東北部・東京西南部(埼玉県内) (5 万分の 1) 地形分類図・表層地質図. 土地分類基本調査, 58p.
- 埼玉県 (1996) 埼玉県活断層調査報告書. 埼玉県環境部地震対策課, 200p.
- 埼玉県環境科学国際センター (2023) 埼玉県ボーリング柱状図. <http://cessgis.maps.arcgis.com/apps/View/index.html?appid=48e32fbb517e48b1848caa45f5872bba> (閲覧日: 2024 年 10 月 1 日)
- 埼玉県県土整備部 (2004) 鴻沼川・東川の地下河川について. 建産連ニュース, **102**, 3–7.
- 埼玉県危機管理防災部 (2023) 令和 5 年度版「埼玉の震災対策」. 57p.
- 斉藤尚人 (2000) ハヶ岳東麓と関東平野の中期更新世テフラの対比とその編年. 第四紀研究, **39**, 15–23.
- 坂田健太郎・中澤 努・中里裕臣 (2011) 八潮 GS-YS-2 コアに見られる更新統下総層群の堆積サイクルとテフロクロロジー. 地質調査研究報告, **62**, 329–345.
- 坂田健太郎・納谷友規・本郷美佐緒・中里裕臣・中澤 努 (2018) 茨城県筑波台地に分布する中～上部更新統下総層群の層序の再検討. 地質学雑誌, **124**, 331–346.
- 産業技術総合研究所 (2024) 活断層データベース 2024 年 4 月 26 日版. <https://gbank.gsj.jp/activefault/> (閲覧日: 2024 年 10 月 1 日)
- Seike, K. (2009) Influence of beach morphodynamics on the distributions of the opheliid polychaete *Euzonus* sp. and its feeding burrows on a sandy beach: paleoecological and paleoenvironmental implications for the trace fossil *Macaronichnus segregatis*. *Palaaios*, **24**, 799–808.
- 佐藤邦明 (1988) 地盤沈下 (4) 地盤沈下の基礎理論. 地下水学会誌, **30**, 163–168.
- 新堀友行・羽鳥謙三・成瀬 洋 (1970) 関東平野の地下地質 第 2 報 関東平野中央部の洪積層. 資源科学研究所彙報, **73**, 30–36.
- 塩田清治・升本眞二・坂本正徳 (1998) 地層の 3 次元分布の特性と地質図作成アルゴリズム ―地質構造の論理モデル―. 情報地質, **9**, 121–134.
- Smith, V. C., Staff, R. A., Blockley, S. P. E., Bronk Ramsey, C., Nakagawa, T., Mark, D. F., Takemura, K., Danhara, T. and Suigetsu 2006 Project Members (2013) Identification and correlation of visible tephra in the Lake Suigetsu SG06 sedimentary archive, Japan: Chronostratigraphic markers for synchronizing of east Asian/west Pacific palaeoclimatic records across the last 150 ka. *Quaternary Science Reviews*, **67**, 121–137.
- 杉原重夫 (1970) 下総台地西部における地形の発達. 地理学評論, **43**, 703–718.
- 杉原重夫・新井房夫・町田 洋 (1978) 房総半島北部の中・上部更新統のテフロクロロジー. 地質学雑誌, **84**, 583–600.
- 高原勇夫 (1984) 大宮台地南部及び荒川低地における第四系の地層区分と堆積環境. 埼玉地理, **8**, 1–12.
- 高原勇夫・久保純子・倉成英昭・岡本 浩 (2019) さいたま

- 市内の沖積層. さいたま市史 自然編 ～気象・地形・地質～, 136–156.
- 田辺 晋 (2021) 関東平野中央部における沖積層の基盤地形. 地質学雑誌, **127**, 635–648.
- 田辺 晋・中西利典・木村克己・八戸昭一・中山俊雄 (2008) 東京低地北部から中川低地にかけた沖積層の基盤地形. 地質調査研究報告, **59**, 497–508.
- 田辺 晋・中西利典・中島 礼・石原与四郎・内田昌男・柴田康行 (2010) 埼玉県の中川開析谷における泥質な沖積層の埋積様式. 地質学雑誌, **116**, 252–269.
- Tanabe, S., Nakanishi, T., Ishihara, Y. and Nakashima, R. (2015) Millennial-scale stratigraphy of a tide-dominated incised valley during the last 14 kyr: Spatial and quantitative reconstruction in the Tokyo Lowland, central Japan. *Sedimentology*, **62**, 1837–1872.
- 徳橋秀一・遠藤秀典 (1984) 姉崎地域の地質. 地域地質研究報告 (5 万分の 1 地質図幅), 地質調査所, 136p.
- 当間唯弘 (1974) 横浜付近の下末吉面の陸化過程. 第四紀研究, **13**, 199–215.
- 戸谷 洋・貝塚爽平 (1956) 関東ローム層中の化石土壤. 地理学評論, **29**, 339–347.
- 植田房雄 (1930) 房総半島北部の地質 (摘要). 地質学雑誌, **37**, 250–253.
- Ujii, H. (1962) Introduction to statistical foraminiferal zonation. *The Journal of Geological Society of Japan*, **68**, 431–450.
- 山口正秋・水野清秀・納谷友規・本郷美佐緒・中里裕臣・中澤 努 (2009) 関東平野中央部, 埼玉県菖蒲町で掘削された 350 m ボーリングコア (GS-SB-1) の層相と堆積物物性. 地質調査研究報告, **60**, 147–197.
- 山崎京美 (1992) 四本竹遺跡産出の貝化石とフジツボ化石について. 埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書, **122**, 65–85.
- 米岡佳弥・坂田健太郎・中里裕臣・中澤 努 (2024) 関東平野中央部における更新統下総層群の岩相層序区分とテフラの斜交. 地質学雑誌, **130**, 409–417.
- 米澤 剛・升本眞二・根本達也・坂本正徳・塩野清治 (2004) 拡張地質関数を用いた地質境界線の表示. 情報地質, **15**, 193–206.
- 吉田 剛, 伊藤直人, 伴 雅雄・風岡 修 (2021) 千葉県北西部における更新統下総層群上泉層下部に挟在する火山ガラスに富む火山灰と阿多鳥浜テフラとの対比. 日本地質学会第 128 学術大会講演要旨集, 160.
- 吉川周作・井内美郎 (1991) 琵琶湖高島沖ボーリングコアの火山灰層序. 地球科学, **45**, 81–100.
- 吉見雅行・竿本英貴・水野清秀・細矢卓志 (2014) 関東平野における更新統オールコアボーリングと堆積層の土質試験. 地質調査総合センター速報, **66**, 185–205.
- Zaitlin, B. A., Dalrymple, R. W. and Boyd, R. (1994) The stratigraphic organization of incised-valley systems associated with relative sea-level change. *SEPM Special Publications*, **51**, 45–60.